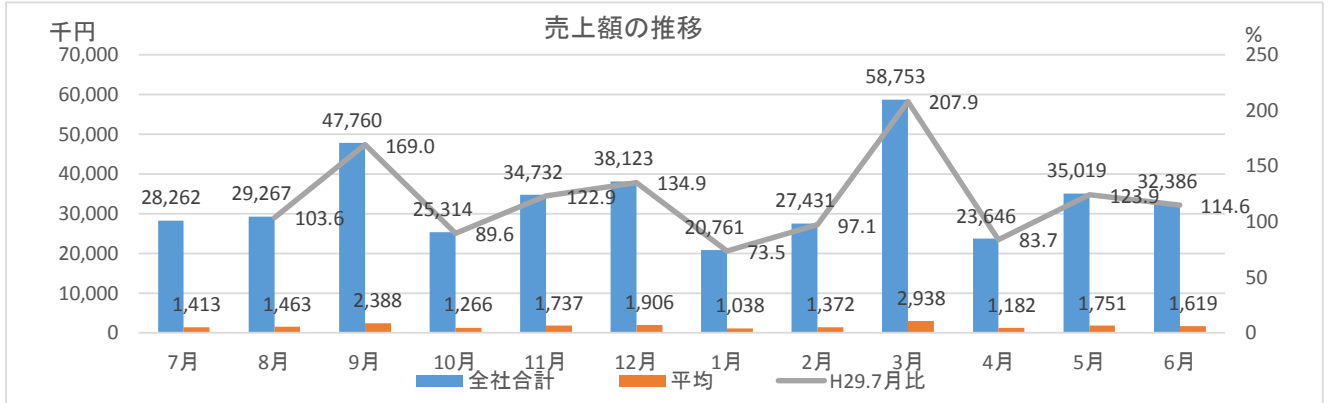


中能登町商工会小規模事業者景況調査結果（調査期：平成30年1月～6月）

- ・前年同期比は、今期と平成29年1月～6月との比較
- ・来期見通しは、当期と比較した平成30年7月～12月の見通し
- ・対象企業：卸小売業 5社、サービス業5社、製造業5社、建設業5社

1. 売上額の推移（平成29年7月～平成30年6月）

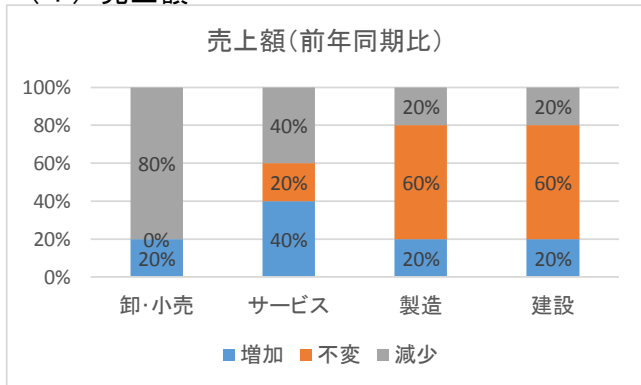
1月を100とした場合の売上額の推移



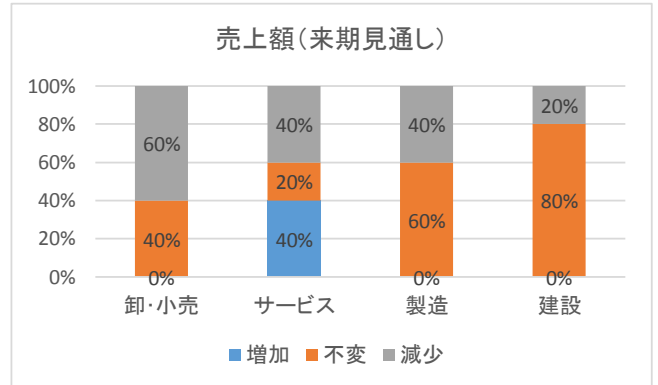
売上額の多い月は3月、9月となっている。1社あたりの売上が多い建設業の年度末での工事高増加の影響を受けたもの。7月を100とした全社売上額合計は、3月が約2倍、1月比では約2.8倍になる。

2. 平成30年1月から6月期の状況

(1) 売上額

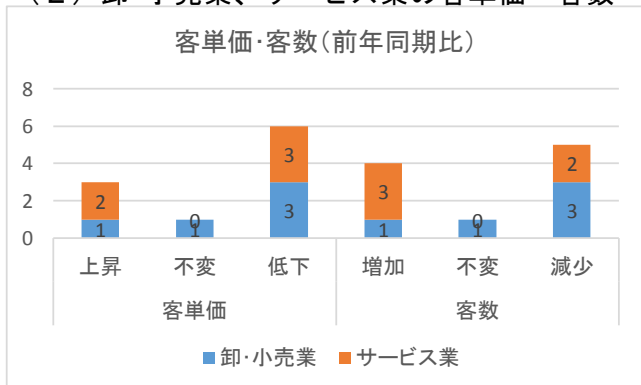


前年同期比で増加が多いのは「サービス」で、減少が多いのは「卸・小売」であった。

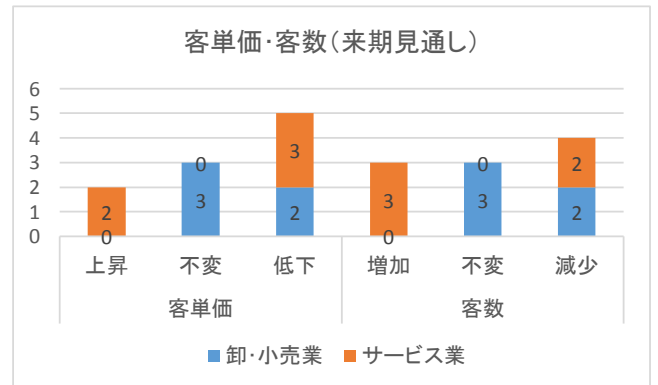


来期見通しでも増加が唯一あるのは「サービス」で4割。減少が多いのは「卸・小売」であった。「建設」は不変が8割を占めた。

(2) 卸・小売業、サービス業の客単価・客数

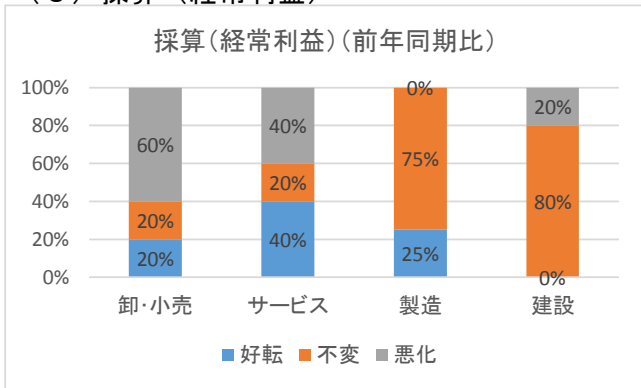


前年比は、「卸・小売」「サービス」ともに客単価の低下が多かった。客数は「サービス」が増加が多く、「卸・小売」は減少が多かった。

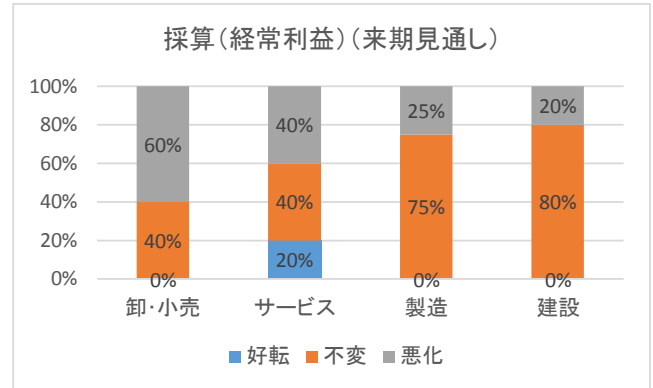


来期見通しは、「サービス」は客単価減少が多く、客数増加が多かった。「卸・小売」は客単価、客数とも不変または減少と予測した。

(3) 採算（経常利益）

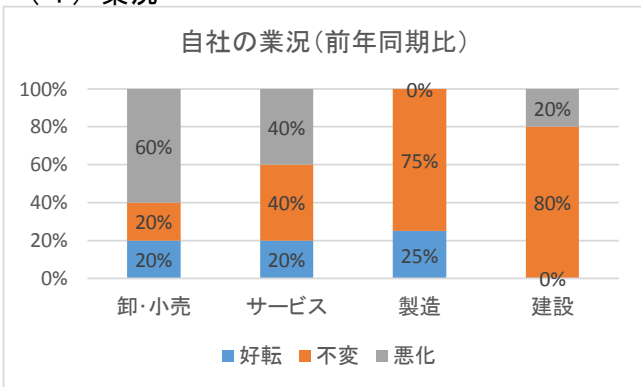


前年同期に比べ、「卸・小売」が悪化が多く、「サービス」は好転と悪化が同じ、「製造」では不変が3/4と最多、好転が1/4、「建設」は不変が8割を占めた。

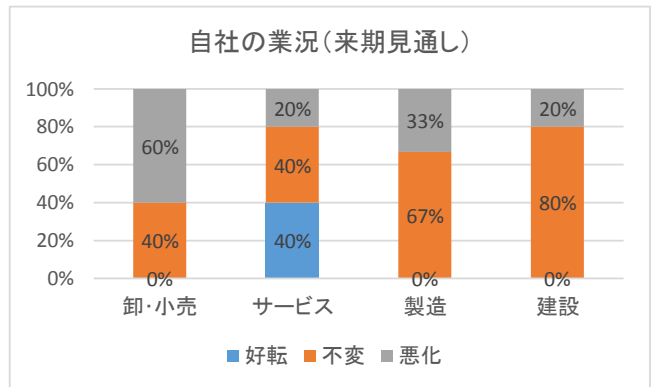


来期の採算見込みは、「卸・小売」「サービス」「製造」「建設」の順で悪化が多くなった。「サービス」のみ好転の20%の好転見込みの回答があった。

(4) 業況



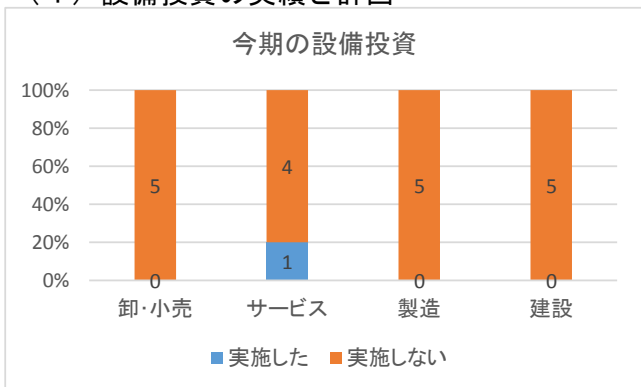
前年同期に比べ、「卸・小売」が悪化が60%と最多、「製造」のみ悪化がなく、「建設」は不変が80%、好転はなかった。



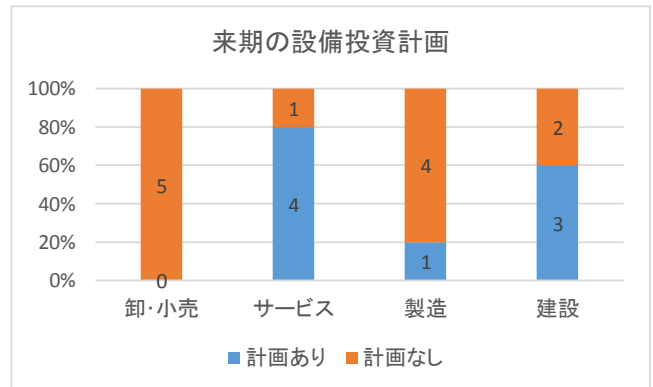
来期見通しは、「サービス」のみ好転があり40%、「卸・小売」は悪化が60%、「製造」も悪化33%の見通しとなっている。

3. 設備投資の状況

(1) 設備投資の実績と計画



実施したのは「サービス」の1件であった。



来期での設備投資計画は、「卸・小売」4件、「建設」3件、「製造」1件であった。

(2) 設備投資内容 (今期の実績)

- ・ サービス…不動産等

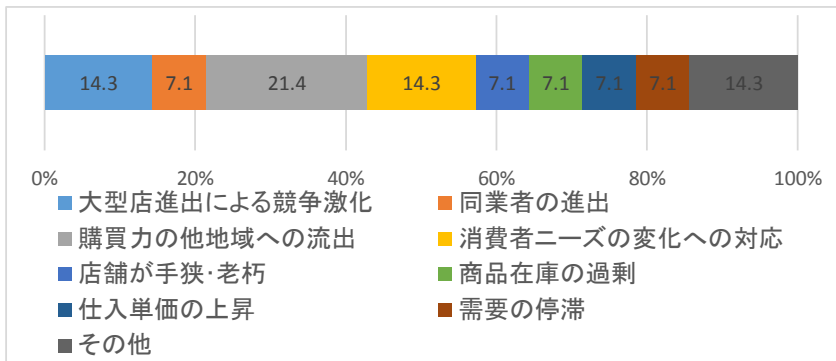
(来期の計画)

- ・ サービス…車両2、設備機器、不動産等
- ・ 製造…建物設備・車両等
- ・ 建設…事務機器等

4. 今期直面する経営課題

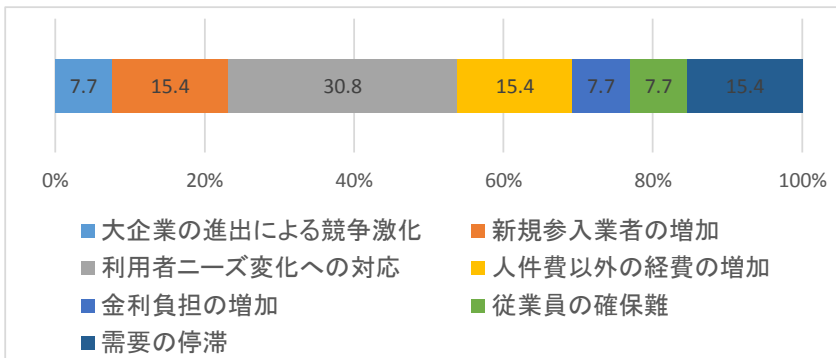
※複数回答

(1) 卸・小売業



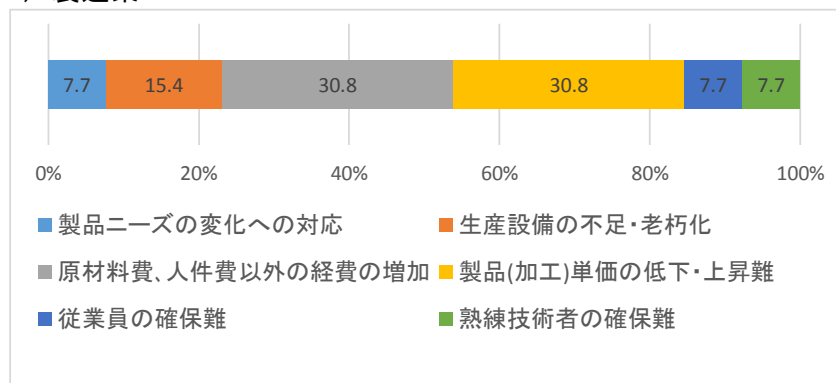
「購買力の他地域への流出」が2割以上と最多で、「大型店進出による競争激化」、「消費者ニーズの変化への対応」が同数で続いている。

(2) サービス業



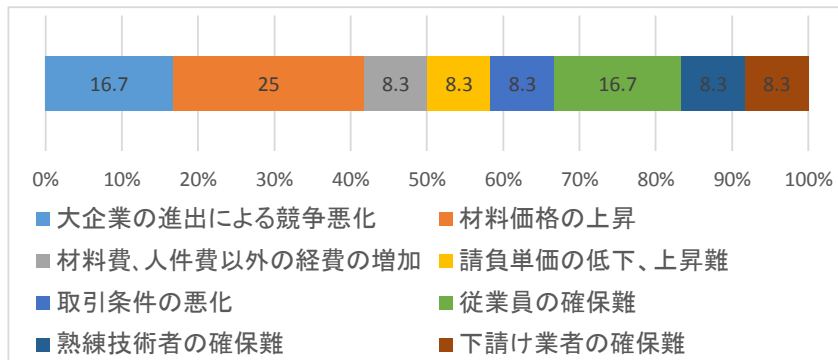
「利用者ニーズ変化への対応」が3割以上で最多、次に「新規参入業者の増加」「人件費以外の経費の増加」「需要の停滞」が同数で続いている。

(3) 製造業



「原材料費、人件費以外の経費の増加」と「製品(加工)単価の低下・上昇難」が最も多く、「生産設備の不足・老朽化」が続いている。

(4) 建設業



「材料価格の上昇」が多く、次いで「大企業の進出による競争悪化」「従業員の確保難」が多くなっている。

5. 今期の業況、感じていること

- ・野菜の不作で価格が高騰、買い控えがある。
- ・送料が値上がりし利益を圧迫。
- ・来店客は多いが、客単価が下がっている。
- ・DMの効果が現れている。
- ・悪天候による客数減少。